

2010年度中国特許出願統計

～ 発明特許出願件数が 39 万件を突破～

2011年2月9日

河野特許事務所

弁理士 河野英仁

中国国家知識産権局は2011年1月19日2010年度における中国特許出願統計を公表した。図1は発明特許出願件数の変化を示すグラフである。

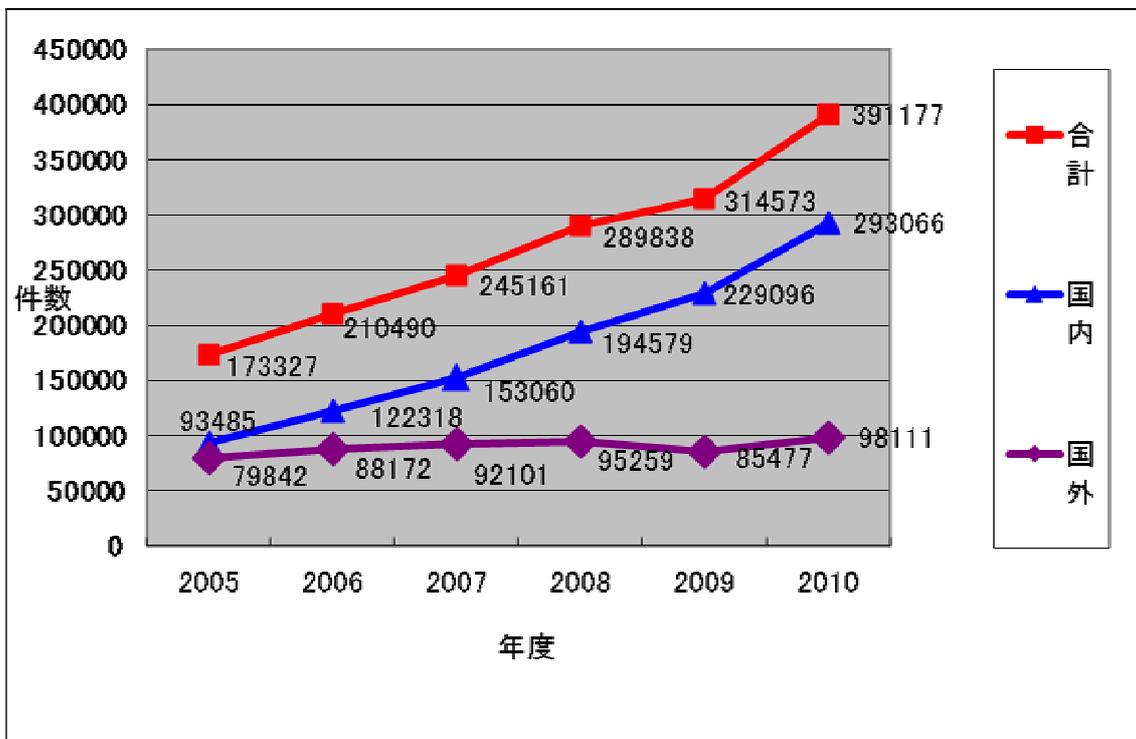


図1 発明特許出願件数の変化

2009年度から2010年度にかけて約24%出願件数が増加し、ついに39万件を突破した。また外国から中国への特許出願も経済危機の影響で減少した2009年と比較して約15%増加した。2009年度における日本国特許庁への特許出願は約34万件であったことから、2010年度にはGDPと同じく日本国特許庁への出願件数を上回るとと思われる。

2005年当時と比較すると、中国国内企業の出願件数が経済発展と共に急増していることが理解できる。2010年度は約75%が中国国内企業の出願であり、中国特許出願はそのほとんどが、外国企業が占めるという認識は過去のものとなった。

数年後にはこれら多量の中国企業の特許出願が権利化されること、また、日本と比較して年間約 4500 件と桁違いに特許訴訟件数がおおいことから、競合となる企業の中国特許調査を十分に行う必要がある。

図 2 は実用新型特許出願件数の変化、図 3 は外観設計(意匠)特許出願件数の変化を示すグラフである。

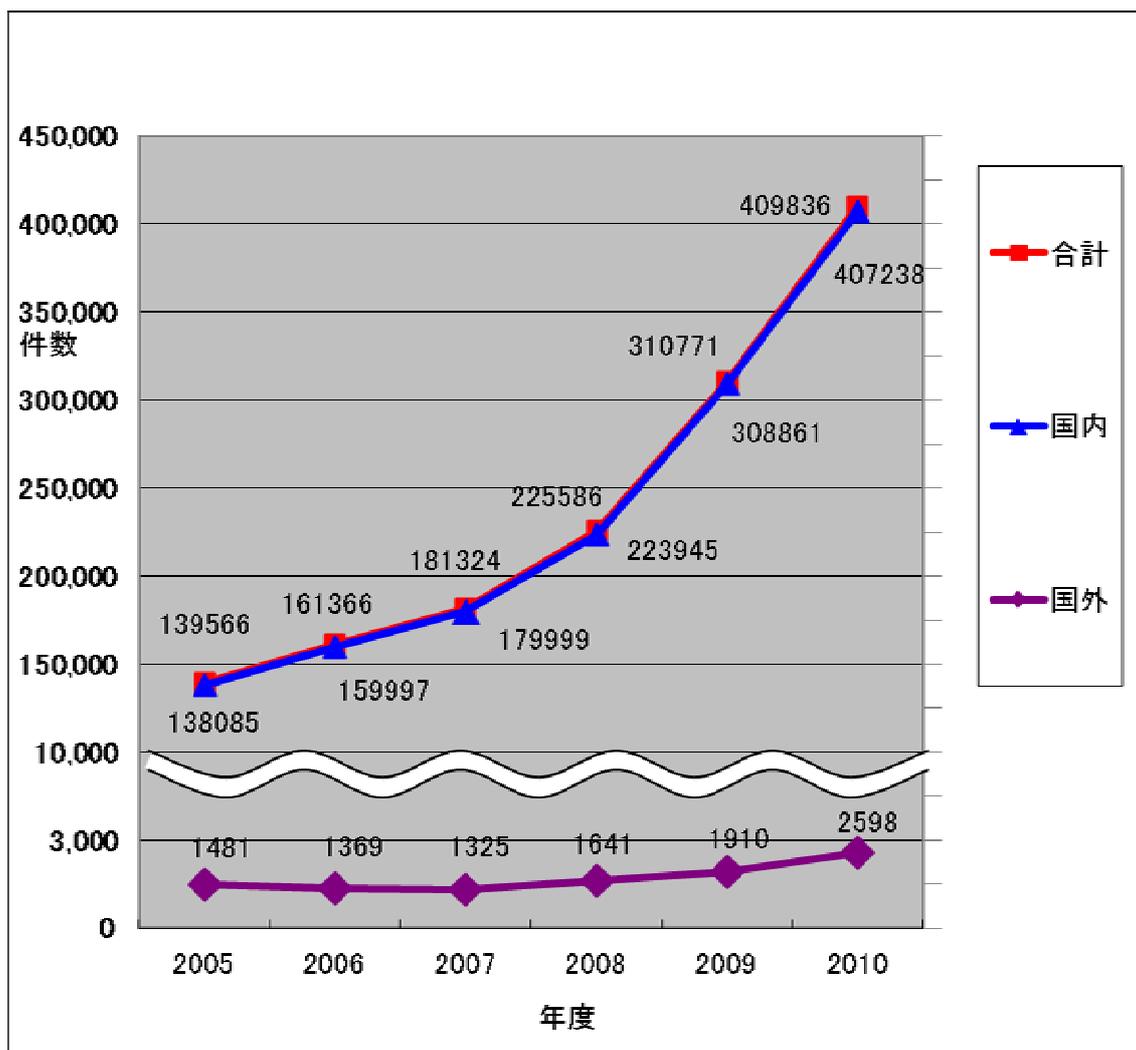


図 2 実用新型特許出願件数の変化

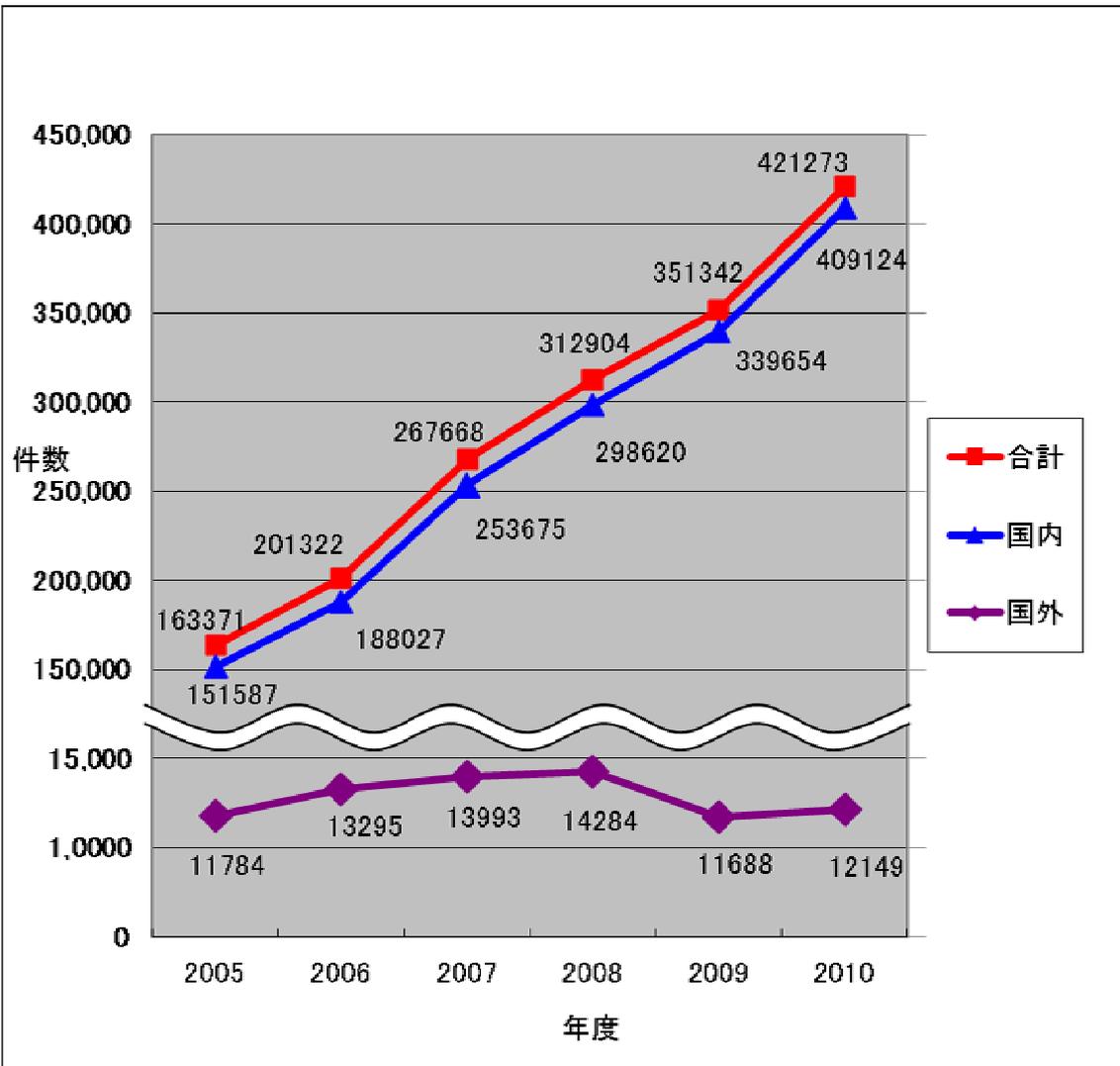


図 3 は外観設計(意匠)特許出願件数の変化

以上